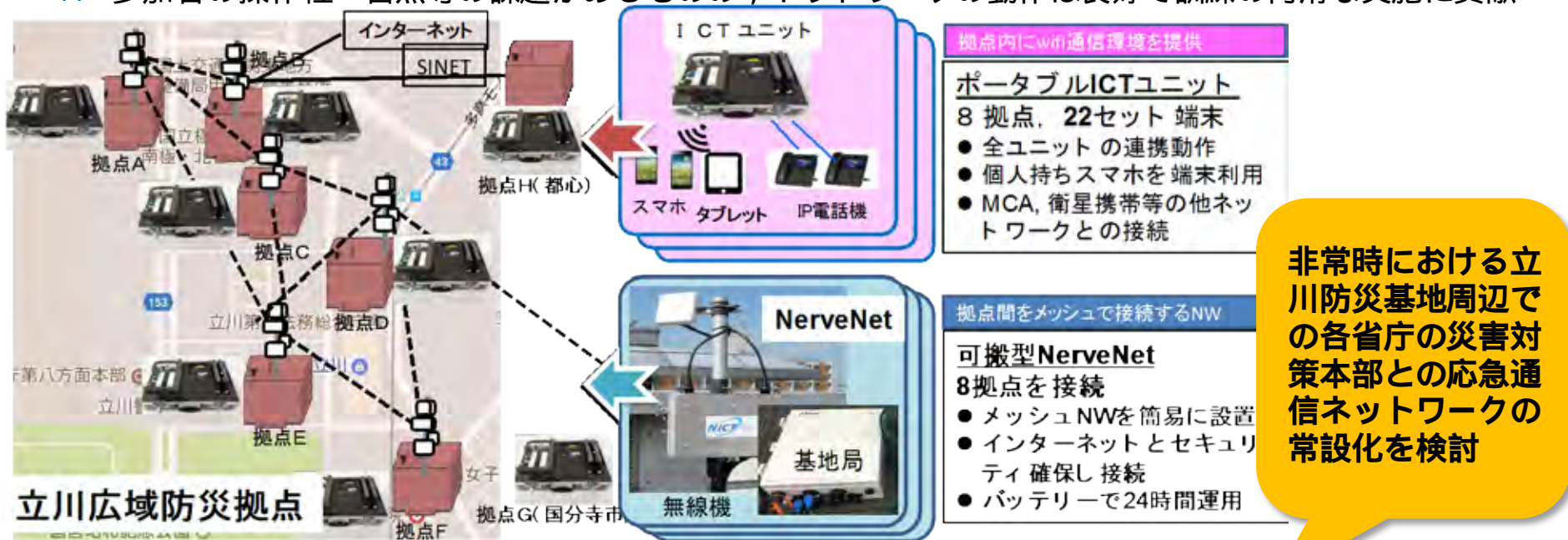


課題 立川代替施設における通信環境の常設化

n 22省庁参加8拠点の**政府緊急災害対策本部の設置準備訓練**において、ICTユニット + NerveNetから構成される**応急通信ネットワークの有効性**を実証（H29年10月4日）。
首都直下地震を想定

- n 従来のMCA無線に加え、応急通信ネットワークを試用
- n 応急通信ネットワーク経由での電話・電話会議・文書共有・FAXを使う8拠点間通信訓練を実施
- n 応急通信ネットワークを介した、インターネット・衛星携帯等の相互接続が可能であることを実証
- n 端末機器は汎用品を使用（個人持ちスマホも用可能）
- n 参加者の操作性・習熟等の課題があるものの、ネットワークの動作は良好で訓練の円滑な実施に貢献

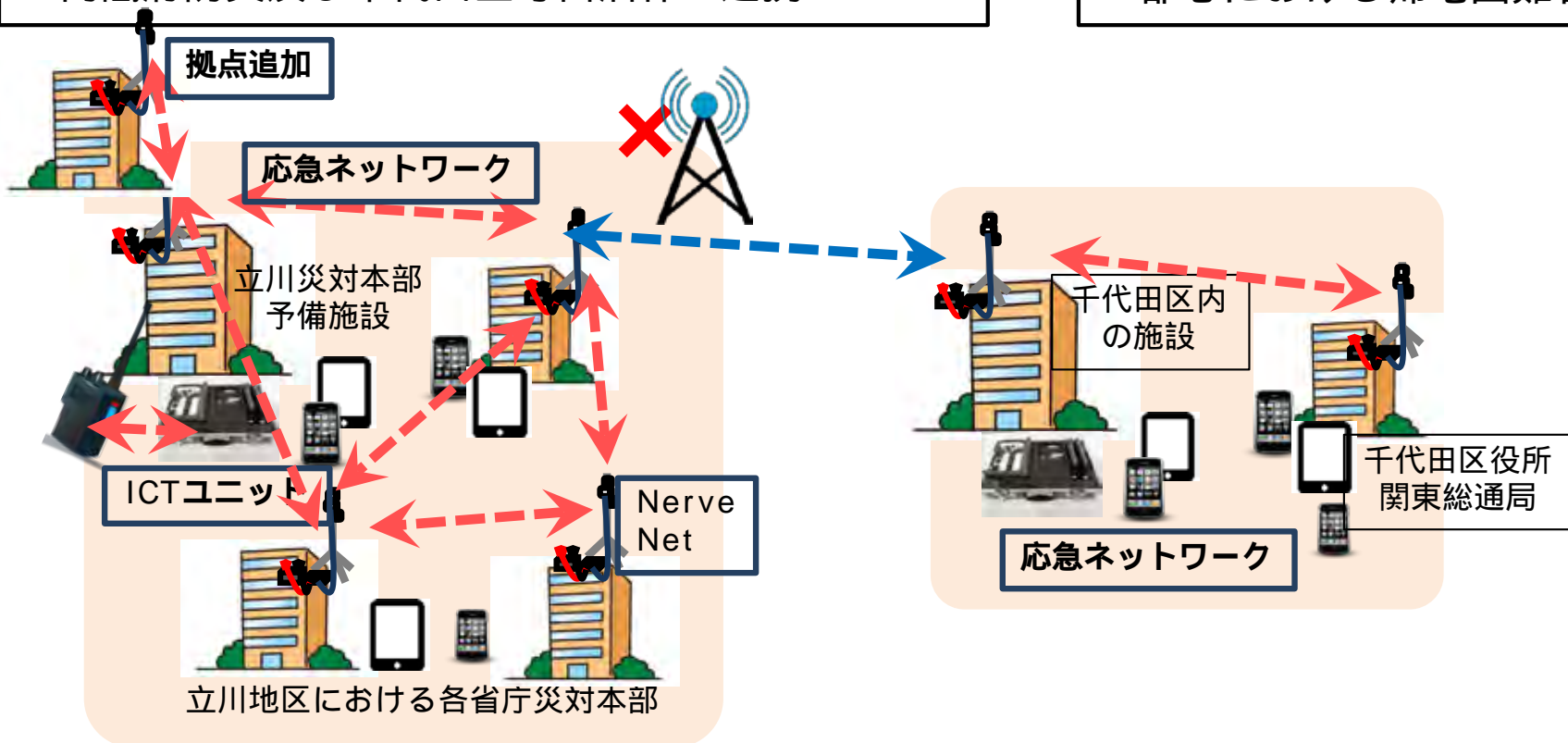


機動的な応急通信ネットワークの実現
(ICTユニットをアタッシュケースサイズまで小型化)

課題 政府防災拠点応急ネットワークの実装化促進

- 立川地区の防災拠点の通信網の常設化、拠点追加
- 都心地区との通信回線の接続
- 内閣府防災及び千代田区等自治体と連携

- 政府BCPの確保
- 定期的な訓練実施
- 都心における帰宅困難者対策



新設拠点：立川地区において各省の代替庁舎
となりうる施設（3施設程度）
拠点、中継点の変更等
屋内配線の本設置

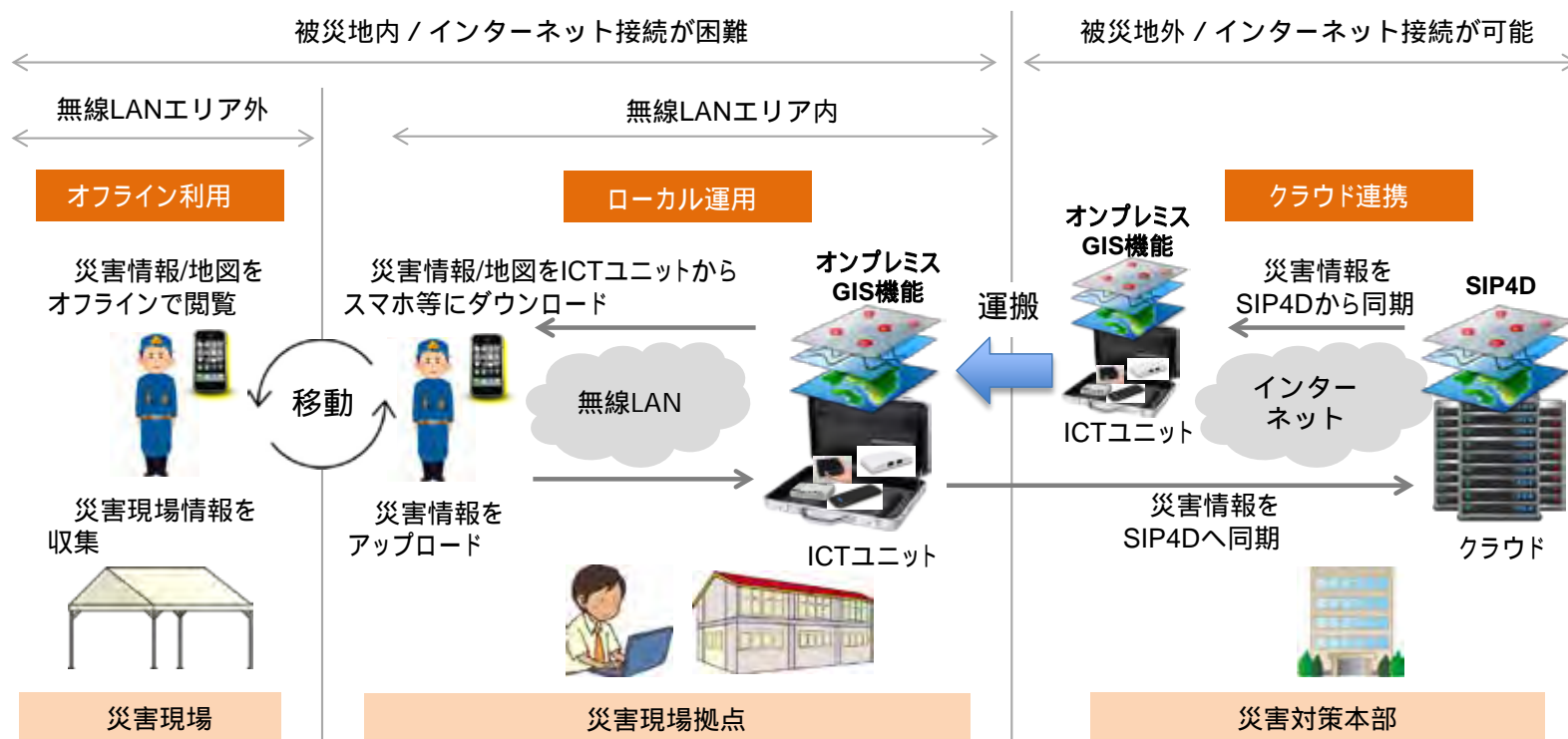
新設拠点候補：千代田区役所等

課題 通信途絶時の災害対応支援の実装化促進

- プログラム終了に向けたICTユニットの出口戦略の強化として、通信途絶時にSIP4D（府省庁連携防災情報共有システム）と連携し、災害対応を支援するための技術開発を行う。
- H29年度に追加施策として実施したICTユニットとSIP4Dの連携方式検討結果を踏まえ、ICTユニットとSIP4Dの連携機能のプロトタイプ実装と、検証評価を行う。本取組みにより、防災関係機関、自治体防災担当職員が災害現場で活用するツールとしての有効性を高め、社会実装を促進する。

<実施内容のレベル>

ICTユニット（オンプレミスGIS機能）とSIP4D連携機能の開発に加え、ICTユニットの通話機能を統合実装したプロトタイプを開発し、防災関係機関や自治体の防災訓練等において実証実験を行う。



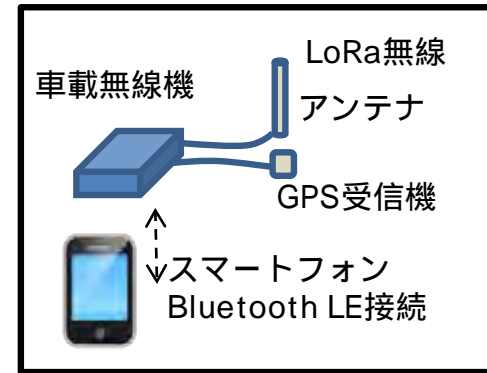
課題 首都直下地震を想定した患者搬送情報の共有

n 通信途絶となる地域でも，開発された長距離無線ノードである拡張NerveNetにFWA等の高速回線を組合せることで，搬送時の患者情報の共有を実現．

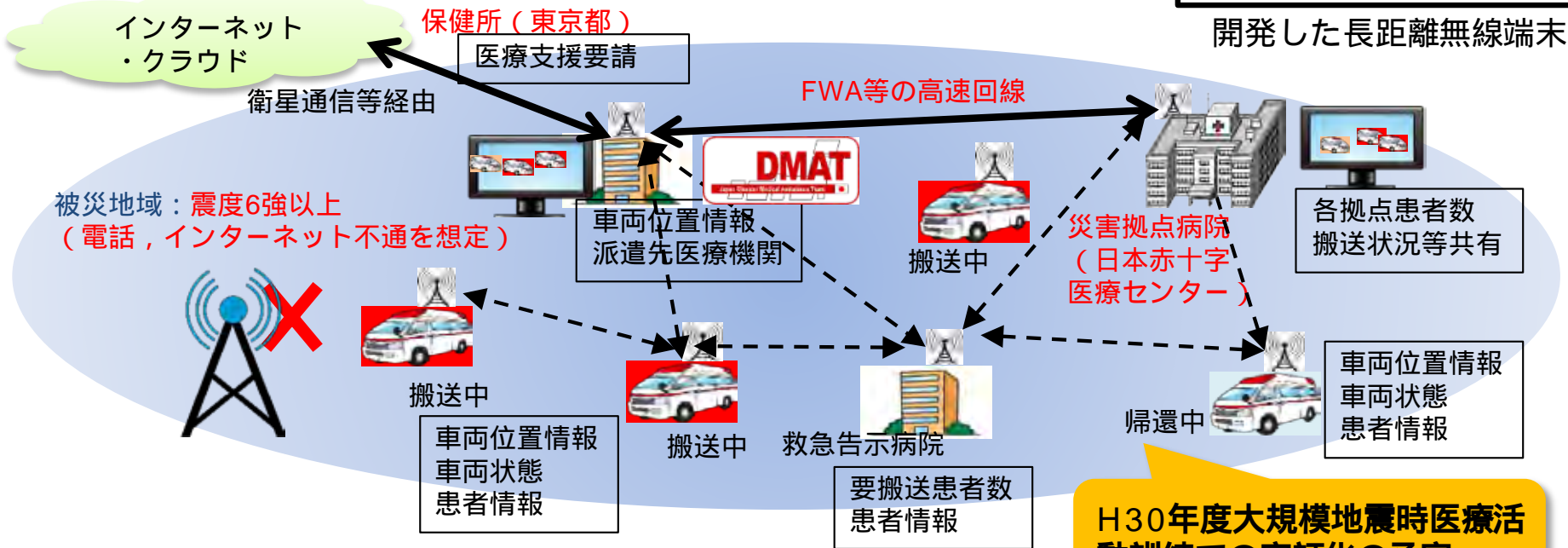
- n 目的：東京湾北部沖地震に備えた災害医療施設間及び緊急車両間の情報共有
- n 研究開発：車載可能な長距離無線端末
- n 共有情報：車両からの情報（車両位置・搬送状況・患者情報等），災害拠点病院等からの指示情報

実証実験サイト

渋谷区の日赤医療センターセンターを拠点とし，他病院や移動車両（緊急車両を模擬）等との情報共有に関する実証実験（H30年度）



開発した長距離無線端末



課題 保健医療支援と課題 応急通信ネットワークとの連携

H30年度大規模地震時医療活動訓練での実証化の予定

課題 ICTユニットの国際標準化・海外展開

- n 国際標準化：ICTユニットが、ITU-T(SG15)においてICTユニット概念規定(L.392)と通信堅牢性と回復規定(L.380)の国際標準化を達成し、世界中の被災地に提供する災害時緊急通信システムとしてITU-Dに導入（H29年5月）。
- n 海外展開：フィリピンセブ島サンレミジオ市での実証実験で有効性を実証し、自治体及び民間企業でのICTユニットの導入が決定（H29年11月）。

国際標準化

- n 国際電気通信連合（ITU）は、総務省との協力により、災害時の通信途絶を迅速に応急復旧させることを目的に、世界中の被災地に提供する災害時緊急通信システムとして、移動式ICTユニット（MDRU）を導入することをH29年5月に決定

総務省様報道発表（H29年5月26日）より引用
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin06_02000099.html

地震，台風，洪水等によって通信が途絶した際，緊急通信手段として，衛星通信システムとともに移動式ICTユニットが世界各国の被災地にITUから提供される



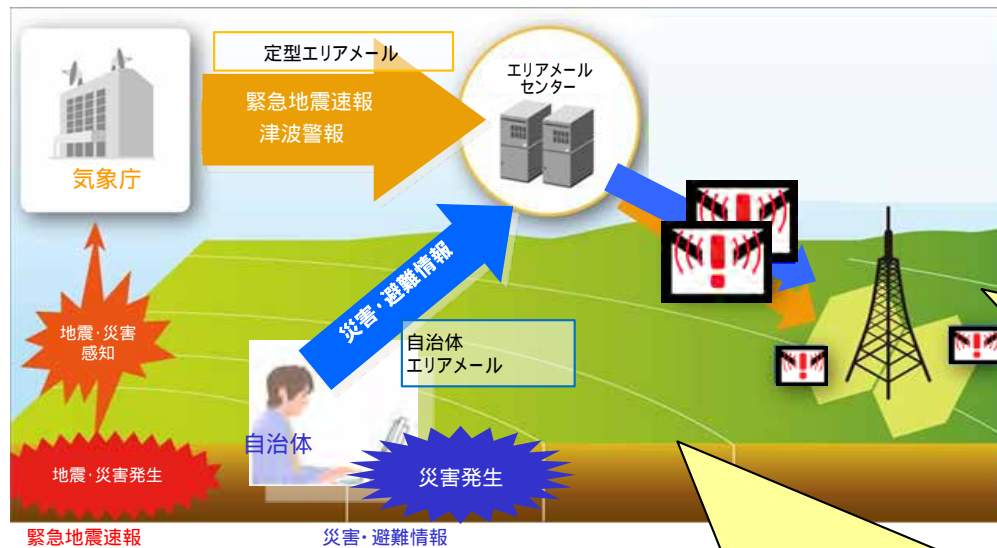
フィリピン実証実験



海外向け営業パンフレットより抜粋

課題 : エリアメールの外国人対応

- n 日本語で発出された**エリアメール**を**外国語に変換**して表示する技術を開発。
- n 緊急地震速報、津波警報等とともに、**自治体エリアメールの多言語化**と**ピクトグラム**の実装を完了し、NTTドコモにて**全国サービスを開始**。
- n 協調領域として、TCA（電気通信事業者協会）を通じて**他通信キャリアでサービスでも開始**
- n **ピクトグラムの国内標準化**と多言語化のための**災害用辞書のオープン化**を推進中。



定型エリアメールの多言語化

緊急地震速報の場合

Earthquake Early Warning
Strong shaking is expected soon.
Stay calm and seek shelter nearby. (Japan Meteorological Agency)

津波警報の場合

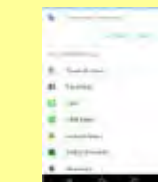
Tsunami Warning
Evacuate from coastal regions and riverside areas immediately to a safer place such as high ground or an evacuation building. (Japan Meteorological Agency)

津波です!
Tsunami!
海啸来袭!
쓰나미입니다!
Es tsunami!
E tsunami!

地震です!
Earthquake!
地震了!
지진입니다!
Es terremoto!
E terremoto!

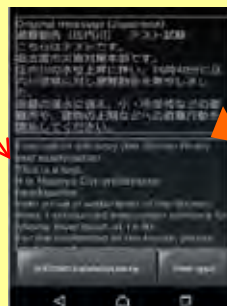
翻訳文(英、中、韓、
スペイン、ポルトガル)

自治体エリアメールの多言語化



他の翻訳アプリと連携
普段利用している翻訳アプリとの連携が可能

エリアメールアプリ



翻訳文(英、中、韓)



災害・避難用語等の
コーパスを作成し実装

ピクトグラムの表示

